

2021年7月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 作本 直行

ブラジル国サンパウロ州沿岸部衛生・環境改善事業
(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2021年6月28日(月) 14:00~17:52
- ・場所：オンライン会議(Teams)
- ・ワーキンググループ委員：作本委員、鋤柄委員、寺原委員、林委員
- ・議題：ブラジル国サンパウロ州沿岸部衛生・環境改善事業(協力準備調査(有償))に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】ブラジル国サンパウロ州沿岸部衛生・環境改善事業(協力準備調査(有償)) SC案
 - 2) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第126回委員会)

- ・日時：2021年7月5日(月) 14:00~17:04
- ・場所：オンライン会議(Teams)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 将来の維持費確保のための上下水道料金等の値上げの必要性に関し、今後の財務分析で確認し、値上げが必要となる場合には、関係住民に対し、十分な周知等適切な措置を講じること。
2. これまでもサンパウロ州で上下水道改善事業への協力が行われてきた経緯があり、旧事業との相違点及び旧事業で残された懸念事項、また本事業に係る上位計画の説明とこの計画の中での同事業の位置づけを DFR に記載すること。

代替案の検討

3. 保護区内で新たに建設を予定している Guarau 地区の処理場については、保護区指定以前から住民居住が進んでいたこと、起伏のある地形での長距離污水圧送に関するパイプ破損・漏水リスクを伴う代替案の技術的困難さ、当該事業の保護区への環境負荷軽減効果、排水処理サービスの公平性等の背景がある。これらを踏まえて行われた代替案評価の根拠や結果を DFR に明示的に記載すること。
4. 環境社会配慮ガイドライン FAQ(5)(同 26 頁)で示している、例外的に保護区内の事業が実施できるための条件の一つである追加プログラムとして、積極的な内容を検討し DFR にそれを記載すること。

スコ어링マトリクス

5. 事業対象地の下水放流先の海洋景観保護地域である海域の水質変化を確認するため、水質モニタリングの実施をブラジル側に対し提案する旨を DFR に記載すること。
6. COVID-19 が影響を及ぼした現地調査にかかる項目（規模・回数の変更・SHM の開催等）について DFR に記載すること。

環境配慮

7. Guarau 地区住民とラムサール湿地との関係について（特に利用状況や相互の影響について）現状と将来計画を把握し、DFR に記載すること。

以上